

平成27年度事業報告

昨年8月、全国最大の暴力団組織「六代目山口組」が分裂し、新たに「神戸山口組」が結成され、本年4月15日には神戸山口組が指定暴力団に指定されたことから、全国の指定暴力団は21団体から22団体に増加した。

さらに、分裂に伴い全国的に抗争と思われる事案が頻発し、暴力団情勢は益々混迷の度を深め、社会の不安を増大させている現状にある。

一方、県下の暴力団勢力は、暴対法の相次ぐ改正、暴力団排除条例の制定、警察の暴力団に対する集中取締りとこれに連動した行政、企業、各種団体の暴力団排除に向けた取組みの強化等、社会全体における暴力団排除気運の高まりにより、平成27年12月末現在8団体・約180人（前年比 - 1団体・ - 約40人）の勢力が確認され、減少を続けている。

しかしながら、分裂した両組織の勢力が拮抗し、全国で発生している抗争事件が県下に波及するおそれがあるなど、予断を許さない状況にある。

特に近年、暴力団の潜在化が顕著（勢力減少の一因とも考えられる）であり、一般人（会社）を装った共生者（社）いわゆるグレーゾーンの者を介在させて社会・経済システムに介入し多額の資金を得ている他、架空債権詐欺や窃盗事件などの新たな犯罪を敢行して資金を獲得している。

また、これほど社会全体の暴排気運が高まりを見せる中であっても、未だに、暴力団を利用し利益を供与する企業や個人も後を絶たない状況にあり、組織の上層部には、多額の上納金が行われている現状にある。

これら情勢から、暴力団の資金源を遮断することに焦点を当てた、さらなる暴力排除、暴力追放に関する広報啓発活動を強化するとともに、グレーゾーンを含めた暴力団等からの不当要求やクレームの増加による、専門的知識や継続的な指導・助言が必要な暴力相談の増加、生活に困窮した暴力団からの離脱等の相談及び暴力団被害者の救済事象の増加等が予想される。

以上の状況を踏まえ、平成27年度は、「暴力団の資金源の遮断」に向けた下記の事業を実施してきたところである。

事業名	実施項目	実施内容	理事長	専務理事
1 広報啓発活動事業	(1) 暴力団員による不当な行為の予防に関する知識の普及及び思想の高揚を図るための広報啓発活動	ア 広報啓発資料の作成、配布 企業対象暴力の現状と対策（200部） 行政対象暴力の現状と対策（200部） 暴追センターだより2015版（2000部） 暴力団排除ポスター（1500部） 暴排ポスター（和歌山トライアックス）（1500枚） 暴力団勢力図（2000部） 暴排カレンダー（1000枚） 少年啓発冊子「希望のいぶき」（追加2000部） 暴排啓発マグネット（500個） イ 啓発資材の整備 DVD 「撃退」（警察庁）		

D V D 「事前の備えこそ最大の防御」(特防連)

ウ 広報媒体を活用した広報啓発

和歌山トライアonzとの広報業務委託契約

「二十歳の手帳(新成人配付)」への広報

わかやま電鉄貴志川線時刻表・橋本市コミュニティバス時刻表への広報

和歌山バス(路線バス)4台へのラッピング広告

テレビ和歌山、和歌山放送等を活用した広報

電光掲示板による広報(4カ所)

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄにおける広告上映の更新(4月、10月)

各業界機関誌への広報

エ 行政機関、各種業界・団体との連携会議出席

和歌山弁護士会新役員就任披露の会(5/15)

生保警察連絡会総会(5/19)

防犯功労者・功労団体表彰式(5/20)

行政書士会総会(5/23)

和遊協社会福祉事業協力会定例評議員会

(5/26.7/27.9/15)

銀行警察連絡協議会総会(5/28)

和歌山県遊技業協同組合通常総会(5/28)

和歌山市地域安全推進員会総会(6/3)

和歌山県J A 共済事業防犯対策委員会(6/3)

(-社)和歌山県産業廃棄物協会総会(6/4)

少年指導委員研修会(6/5)

(公財)和歌山県防犯協議会連合会定時評議員会(6/10)

和歌山県損害保険防犯対策連絡協議会総会(6/19)

和歌山県刑務所出所者等就労支援事業推進協議会

(6/29)

和歌山県企業防衛連絡協議会総会(6/30)

和遊協社会福祉事業協力会設立25周年記念式典

(10/13)

和歌山県証券警察連絡協議会総会(11/5)

銀行警察連絡協議会運営委員会(11/10)

和歌山市管轄警察署被害者支援・相談ネットワ

ーク総会(11/18)

和歌山県企業防衛連絡協議会運営委員会(11/20)

和歌山県公益企業体暴力対策協議会(12/7)

和歌山県生保警察連絡会(1/26)

近畿地方整備局・警察暴力団等排除連絡協議会

(1/29)

平成27年度えせ同和行為対策関係機関連絡会

		<p style="text-align: right;">(2/18)</p> <p>和歌山市ホテル旅館結婚式場暴力追放連絡協議会総会(2/29)</p> <p>オ 企業・行政等に対する講習 大阪ガス(株)講義(7/8) 和歌山県市町村職員監督者二次研修講義(9/4、9/11、9/16) 暴力追放白浜町民大会講演(11/7) 和歌山県公益企業体暴力対策協議会講義(12/7) 紀の川市・岩出市暴力追放市民大会講演(2/10) えせ同和行為対策関係機関連絡会講義(2/18)</p> <p>カ 研修会の開催及び参加 「反社会的勢力(総会屋・暴力団等)問題と企業の安全を考える」セミナー参加(5/18) 資産運用セミナー参加(12/15) 民事介入暴力対策研修会の開催(9/16)</p> <p>キ 資金源に的を絞った広報啓発活動 和歌山県防犯協議会連合会が行う「風俗営業管理者講習」への資料提供と資金源遮断広報 県警が実施した「繁華街等での暴排ローラー」の機会を活用した暴排啓発マグネットの配付 和歌山市2回(6月・12月)田辺市1回(12月)</p> <p>ク プロバスケットチームを活用した広報啓発 和歌山トライアンズ所属選手を使用した暴排ポスターの作成と配付 暴力追放県民・市民大会における広報啓発活動(大会宣言、受付)</p>		
	<p>(2) 暴力追放大会の開催</p>	<p>ア 第24回暴力追放県民・市民大会 平成27年11月17日(火)和歌山市民会館小ホールにおいて、約700人参加により開催</p> <p>イ 開催に向けた担当者会議の開催 4月~11月6回</p>		
<p>2 民間の暴排活動支援事業</p>	<p>(1) 組織の活性化の促進</p>	<p>ア 和歌山市ホテル旅館結婚式場暴力追放連絡協議会の再構築による活性化と総会の開催(2/29)</p> <p>イ 不当要求防止責任者講習を活用した職域暴排組織結成気運の醸成</p> <p>ウ 県警察、地域暴排組織事務局との連携による組織の活性化の促進</p>		

	(2) 暴排事業への支援	<p>ア 暴力追放白浜町民大会開催に伴う助成金交付</p> <p>イ 紀の川市・岩出市暴力追放市民大会開催に伴う助成金交付</p>		
3 相談活動事業	(1) 相談体制の整備・強化	<p>暴力追放相談委員の体制（本年度委嘱替え）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常勤 2名 ・ 非常勤 26名 <p>警察OB 4名、弁護士 12名、保護司 5名、少年指導委員 5名</p> <p>体制は変更無し</p>		
	(2) 相談活動の充実	<p>ア 相談受理状況</p> <p>受案件数 H27年間200件（前年比 - 8件）</p> <p>イ 非常勤嘱託職員の採用更新による活動の強化</p> <p>ウ 出張相談所の開設</p> <p>田辺市暴力追放決起大会(10/27)</p> <p>紀の川市・岩出市暴力追放市民大会(2/10)</p> <p>エ 暴力追放相談委員の知識技能の向上</p> <p>全国暴力追放相談委員研修会への参加(7/17)</p> <p>暴力追放相談委員研修会の開催(8/21)</p> <p>臨床心理士による講演の実施</p>		
4 少年に対する暴力団の影響排除活動	(1) 影響排除活動	<p>ア 県内高校生からの暴排ポスター募集事業による啓発活動</p> <p>イ 各種講習、会議の場における広報啓発（「半グレ集団」等の実態広報）</p>		
	(2) 少年に対する教育活動	<p>少年を暴力団から守るための啓発冊子「希望のいぶき」を活用した県警組織犯罪対策課、少年課との連携による啓発活動の実施</p>		
5 暴力団離脱者支援事業	(1) 離脱希望者の把握と支援	<p>ア 各種広報媒体、講習等における離脱者支援広報、足抜け電話(423-8918)の利用促進広報の実施</p> <p>イ 県警及び社会復帰アドバイザーとの連携による離脱希望者の把握と支援</p> <p>離脱相談・支援2件2名 警察との連携による離脱実施</p> <p>上記離脱者2名に対して、当センター「離脱者援助規程」に基づき離脱援助費を支給</p>		
	(2) 社会復帰対策の	<p>ア 和歌山市内3警察署との「暴力団離脱者等社会復</p>		

	推進	<p>帰検討会」開催</p> <p>イ 全国暴力団離脱者等社会復帰対策会議（福岡県）に県警担当者、NPO法人森下会長と出席</p> <p>ウ 「和歌山県暴力団離脱者等社会復帰対策協議会」の開催（2/8）と活性化</p> <p>エ 離脱者等雇用受け入れ企業等の開拓に向けた業務の推進（3/3現在11社を登録）</p>		
6 事務所使用差止請求制度への対応	(1) 広報の実施	各種講習、会議及び機関誌等の資料による広報の活性化		
	(2) 関係機関との連携及び情報収集	県警、和歌山弁護士会民暴委員会等関係機関との連携		
7 不当要求防止責任者講習事業	(1) 責任者選任事業所の拡大	<p>ア 不当要求防止責任者講習、各種出席会議における広報の実施</p> <p>イ センターだより等の機関誌、各種講習・会議等における不当要求防止責任者講習制度の広報</p> <p>ウ 民事介入暴力対策研修会における必要性の説明と広報</p>		
	(2) 講習の充実	<p>ア 平成27年度における実施結果 実施回数35回（うち公務員講習9回）1,796人（うち公務員433人）受講（前年比 - 94人）</p> <p>イ 県警（OBを含む）弁護士会等との連携による具体的内容の講義</p> <p>ウ 視聴覚教材の活用</p>		
8 救済事業	(1) 被害回復援助・民事訴訟等の支援	<p>実績なし</p> <p>県警及び被害回復アドバイザーとの連携による支援を必要とする被害者の把握と支援</p>		
	(2) 保護対策	緊急通報装置の貸出し 3月末現在なし		
9 少年指導委員研修事業	(1) 少年指導委員活動への支援	<p>ア 和歌山県警察少年指導委員研修会への参加(6/5)</p> <p>イ 上記研修会への助成金の増額交付</p> <p>ウ 当センター委嘱暴力相談委員である少年指導委員への研修の実施(8/21)</p> <p>エ 県警（少年課）との連携と活動支援 啓発冊子「希望のいぶき」の配布</p>		

10 上記事業 に附帯する 事業	(1) 反社情報の提供	<p>ア 賛助会員に対する反社情報の提供 現在7事業所 (前年比 - 4企業)</p> <p>イ 情報漏出防止の徹底</p>		
	(2) 調査研究	<p>ア 民事介入暴力対策研修会の開催(9/16) 県警・和歌山弁護士会・当センター・和歌山県農 業協同組合連合会・和歌山県漁業協同組合連合会 66名参加</p> <p>イ 暴力団等からの不当要求実態調査 不当要求防止 責任者講習時にアンケートを実施 本年度から結果をグラフ化しフィードバック 当センター機関誌「センターだより」掲載</p>		
	(3) 表彰関係	<p>ア 暴力追放県民・市民大会における表彰(11/17) 近畿ブロック暴力追放功労 佐々木惣太郎 氏 高田英亮 氏 田辺市暴力追放協議会 和歌山県暴力追放功労 広畑良次 氏、 田辺飲食業組合 暴力団等排除優良企業顕彰 花王株式会社 和歌山工場</p> <p>イ 全国暴力追放運動中央大会における表彰(11/24) 銅賞 泉 房次朗 氏 団体表彰 白浜温泉旅館協同組合 職員表彰 中村 佳澄 氏(警察官OB) 山口 範之 氏(保護司)</p>		
	(4) 全国・他府県と の連携	<p>ア 近畿ブロックセンター研修会(7/21)、全国センタ ー研修会(2/15)への出席</p> <p>イ 暴力追放兵庫大会(11/11)、同大阪大会(11/12)、 同中央大会(11/24)への参加</p>		
11 センター 運営業務	(1) 会議の開催等	<p>ア 定例会議 平成27年度第1回通常理事会(5/22) 平成27年度定時評議員会(6/12) 平成27年度第2回通常理事会(3/9)</p> <p>イ 決議の省略(みなし決議) 辞任に伴う理事・評議員選任の件(4/1) 任期満了に伴う理事長選任の件(6/12) 辞任に伴う理事・評議員選任の件(8/12) 辞任に伴う理事・評議員選任の件(3/30)</p>		

<p>(2) 財政基盤の拡充</p>	<p>ア 賛助会員の獲得 法人 309法人、922口（31口未納） 個人 53人、57口（7口未納） （H27年度新規 法人14、個人3）</p> <p>イ 資産の効率的運用 別添「資産(8億円)運用状況(H27.4.2現在)」の とおり 紀陽銀行劣後債（2億円）の償還(H28.9予定) を見据えた証券会社等との情報交換 寄附 和歌山県建設業暴力追放協議会 150万円 和歌山県警察共助会 100万円 （H25年度から11年間で1,080万円の寄附）</p>		
<p>(3) 適正経理</p>	<p>税理顧問契約の継続（内藤会計事務所）と連絡調整</p>		

理事長出席

理事長決裁

専務理事出席・専決